

歌声とともに開講!



～受講者全員による合唱～

文化
なかの

中野市公民館報

2010

No.62
(通巻No.594)

5

発行
中野市中央公民館
編集
文化なかの編集委員会

〒383-0025
中野市三好町一丁目4番27号
TEL 0269-22-2691
FAX 0269-26-2342

中野市シニア大学

中野市シニア大学(中央公民館主催)開講式が4月22日(木)、同館講堂で開催、85人が参加しました。

この大学は学習やクラブ活動を通し、受講者の生きがいや仲間づくりが目的。楽しく学ぶことをモットーに、多彩な講座を開きます。

開講式後は「H&S、Tアンサンブルコンサート」と題し、箏とギターによる演奏を楽しんだほか、受講生全員で合唱も行いました。

今年は講演会、音楽鑑賞など講座18回、受講生の希望から趣味のクラブ活動を6回予定しています。

北部、西部、豊田の各公民館でも、シニア向けの講座を計画しています。受講は各公民館で受け付け、大勢の参加を呼びかけています。

今月号の特集

公民館レポート

あおぞら

雑感

「目に青葉、山ほととぎす、初がつを」
新緑の季節である。この

所の天候異変が、気になる。アイスランドの噴火、41年ぶりの遅い春の積雪などだ。野菜も高騰し、店で買うにもサイフを気にしてしまふほどだ。梨や桃への影響も心配だ。

杞憂ではないが、政治の世界も又、然り。

今年、御柱祭の年である。私の地区でも、老若男女、職業も様々な十数人が集まって、祭りの山車だしの宝船を作った。仕事の憂うれさも忘れて、設計図もなしに造り上げていく。忘れかけていた、「郷土愛」を感じる一時だ。

若者達の獅子舞を見る。その力強く、自信に満ちた演技に、今年も、無事息災で頑張ろうと思う。自然界は、初夏、新緑の美しさだ。梅の葉かげの実、柿の若葉が盛りだ。

(U)

特集

公民館レポート

公営結婚式が終幕

運営委員会 物品を市へ寄贈



長島会長から小田切市長へ

中野市公営結婚運営委員会は昭和38年に設置され、公民館などで行う公営結婚式を円滑に運営してきましたが、時代の流れとともに、平成6年を最後に公営結婚式は行われていませんでした。このため、運営委員会を3月末で解散することとし、公民館で使用する会議用テーブル、折りたたみ椅子、プロジェクトターなどの備品を基金で購入し、市へ寄付することにしました。

3月31日には長島克己会長が市役所を訪れ、小田切市長へ目録を手渡しました。各公民館では、寄付された備品を大切に使い、これからの事業に活かしていきます。



力作を発表 市民書道展 入選87人

書道愛好家の技術向上や文化普及を目的に、中央公民館と書道如水会は3月31日、4月1日、第29回中野市民書道展を開催しました。

毎年、市内の小中学生、愛好家や市内の書道グループから多くの作品が集まり、今回は161人（一般38人、小中学生123人）から出展され、87人が入選しました。

一般の部の入選者は左記のとおりです。（敬称略）



今年も多くの作品が飾られました

- | | | |
|--|---|--|
| <p>【中央公民館長賞】
荒井 二三子</p> <p>【書道如水会長賞】
黒川 めぐみ</p> <p>【特選】
阿部 直美
池田 春子
島田 喜勢子</p> | <p>【秀作】
白井 和美
田川 八重子
塚田 美紀
山岸 さか江</p> <p>【入選】
石沢 育江
小野 清美</p> | <p>小 林 里江
佐 川 順子
佐 藤 初美
下 村 登志子
土 屋 摩智子
野 村 茂子
宮 本 朋也
養 田 敏子</p> |
|--|---|--|

地域の情報を上手に発信 中高分館役職員等研修会開く

平成22年度中高分館役職員等研修会が4月17日(土)、野沢温泉村公民館で開かれました。

中高地区(中野市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村)の公民館関係職員約70人(中野市30人)が集まり、今後の分館活動のあり方を話し合いました。

最初に、信濃毎日新聞社読者センター長の山崎竹宣さんが「地域からの情報発信について」と題し、メディアや情報発信の重要性など、紙面づくりや支局での取材活動を交えて講演しました。特に、どんな事がニュースになるのかを、分かりやすく解説しました。

分散会では、各地域の職員による活動報告。分科会では「分館報の編集」について、各会場に分かれて研修しました。

第二分散会場では、中野市の北永江分館長の中島守成さんが、毎年5月に開く「菜の花まつり」について、活動発表しまし



第二分散会の様子

た。

分科会では、再び山崎さんから各地域の分館報を例に、紙面のレイアウトや見出しの作り方、写真の撮り方など、技術的なアドバイスを受けました。

どの会場も、参加者から活発な意見が出され、有意義な研修になりました。

7/3(土)
開催

なかの21 市民講座

コミュニケーションのための 平田オリザさんによる劇場ワークショップ・講演会



劇作家・演出家・大阪大学教授
内閣官房参与
講師 平田オリザさん

期日 22年7月3日(土)
時間 午後1時半から
会場 中央公民館 講堂
受講料 無料
ワークショップ参加者 先着30名まで
募集期間 5月10日(月)から
5月28日(金)まで
参加申し込み先
中央・北部・西部・豊田の各公民館

住みよいまちづくりをテーマに進めているなかの21市民講座では、昨年の講座で好評だった平田オリザさんに、今年も講師をお願いすることになりました。

今回は「演劇ワークショップ」というスタイルで、コミュニケーション講座のいわば実践編。みんなで簡単なゲームや寸劇を行いながら、コミュニケーションとは何かを体験を通して考えて行きます。講師の言葉によれば、「コミュニケーションとは、空気を読むことではない、自分と相手との差異をあきらかにしてすり合わせる事」だとか。いったいなにが起こるか楽しみです。

新聞やテレビにも数多く登場し、「対話力」の大切さを熱く語る平田さんから、直接の指導が受けられるチャンスです。ワークショップに参加希望の方は公民館までお申し込み下さい。見学や講演会の参加はどなたも自由になりますので、大勢の皆様のお越しをお待ちしております。

参加者募集!

こん にちは 分館

美沢区は豊田地区の中央に位置しています。

もともとは斑尾山の麓に集落がありましたが豪雪地等のため38年前に耕地を残し、今の地に団地を造成。12世帯が移住しました。

毎年春先には、道普請の後お花見を行ないます。今年も4月24日に行いました。集会所前で区民全員が集い、和気あいあいと交流を

美沢分館

深めました。

この集会所の庭には北向観音の碑があります。9月には神官を招いて秋祭りの神事を行ないます。また11月3日には天正寺住職を招いて医王庵法要が営まれます。この日には旧美沢地区の住人が各地から集い、年に一度の再会を楽しみます。

各戸の玄関先には屋号の表札が掲げられており、美沢区の昔からのつながりを大切にしている心現われかと思えます。これからも伝統を大切に、仲よく生活していきます。

(美沢分館長 中村光男)



北向観音移設時の写真（昭和49年頃）

「万葉集を読み味わう」が 講座記録集に

平成二十一年度
養講座「万葉集を
読み味わう」

（講師／
信州大学名誉教授
滝澤貞夫先生）の講
座記録を冊子にまと
めました。ご希望さ
れる方に無料でお渡
しします。お気軽に
中央公民館へお
立ち寄り下さい。

古典文学
万葉集を読み味わう
—高橋達夫麻呂—

平成二十一年度
養講座

講師
信州大学名誉教授
滝澤貞夫先生

中野市中央公民館

ふるさととの歴史

昭和四十八年八月二十九日の信濃毎日新聞に「独自の民俗にメス・集団移住の豊田村美沢」という見出しで「同地区は山間豪雪地で地滑り、雪崩の常習地帯とあって、昨年暮れの集団移住で全戸が里へ下り、点々と残る民家はすべて無人」との記事があった。以下、美沢の昔を尋ねてみたい。

ムラの発生は検地帳に延宝四年（1676）と記されている。

足保を美沢と替えたのは、

昭和二十八年六月二十五日。ムラの集団移住は同四十七年十一月四日、解散式を医王庵で行い十四戸のうち十二戸は、同村大字穴田字橋場へ、二戸は北永江へ移られた。

斑尾山麓永江周辺にある埋文は、弥生遺跡はな

く、十ヶ所全部が縄文遺跡である。これが特色。また縄文と土師、須恵器の複合遺跡は4ヶ所ある。

標高の高い月夜岳遺跡（標高830メートル）には楕円型文のある、縄文前期の土

集団移住のムラ美沢

器が出土している。この遺跡の約9000年前の気候は、雪も少なく温暖で住むに快適であったといわれている。この現象は海水面の上昇による温暖化が原因で、縄文海進という。この気温のピークは6000年前といわれている。

伝承に、古道「東山道」の

る。縄文海進は貝塚の存在から提唱されたもので、海岸線付近にあるはずの貝塚が内陸部で発見されたことから海進説が唱えられた。（フリー百科辞典より）

小路が斑尾山麓を通っていたという。この沿線かと思われ、付近に足保・三保・分道・沓掛・塩街道等の道に關係する地名が多い。また江戸時代に北国街道の分れ道が神代一永江―柏原間を通っていた。

別名足保街道とも殿様街道とも呼んでいた。更に柏原・永江間の永江街道は昔巡検使の通った道でもあった。

屋号は生きている。どの家にも屋号がある。新しく団地へ移住した今も、昔どおりの屋号が使われている。

よそで育たない足保ゆり。樽地区に自生している山ゆり

この足保にしかない。酒屋もん（杜氏）の多いムラ。冬の出稼ぎに二十戸足らずのムラに、一時は十一人もいたという。現金収入があるので、お大尽（お金持ち）と呼ばれていた。（美沢の民俗より）造り酒屋と杜氏の祭りは、京都嵐山松尾山に鎮座する、大山咋神と中津島姫命で松尾さんと呼んでいる。松尾大社は旧官幣大社であった。

（小林 修二）

今月の伝言板

講座の詳しい内容につきましては、各公民館までお問い合わせください。

■中央 ☎ 22-2691 ■北部 ☎ 26-0677 ■西部 ☎ 23-1024 ■豊田 ☎ 38-2922

	講座名	日時	場所	講師	備考	
中央公民館	ふるさと歴史探訪	5月19日・6月2日・16日 6月30日 (全4回 毎回水曜日) 9時30分～11時30分	集合場所 中央公民館	河野 實 先生 阿部敏明 先生 田中 毅 先生	<定員> 30名 <受講料> 無料 <申込み> 5月1日(出)から ※地域の史跡を訪れ、ふるさとの歴史を学び先人を偲びましょう	
	ガーデニング教室	6月4日(金) 10時30分～12時	中央公民館	青木 律子先生	<定員> 30名 <材料費> 1,000円 <持ち物> 園芸用はさみ、エプロン、作品持ち帰り用袋 <申込み> 5月10日(月)から受付します	
	家庭教育学級 楽しんで子育て	6月17日(木)～10月 10時～11時30分 (全9回予定)	中央公民館 教室ほか	テーマごとの 講師が担当	<定員> 30名 <対象> 子育て中の方、関心のある方 <受講料> 無料 <材料費> 1,000円 <申込み> 5月17日(月)から受付します	
	料理教室	6月18日・7月16日 9月17日・10月15日 11月19日・12月17日 (全6回 毎回第3金曜日) 9時30分～12時30分	中央公民館 料理実習室	管理栄養士 上野マリ子 先生	<定員> 36名 <食材費> >3,000円 <持ち物> エプロン、三角巾、ふきん <申込み> 5月20日(休)から受付します	
	源氏物語を 読み味わう	6月22日・29日 7月6日・13日・27日 (全5回 毎回火曜日) 10時～11時45分	中央公民館 講堂	信州大学 名誉教授 滝澤貞夫 先生	<受講料> 無料 <定員> >50名 <内容> 第十帖「賢木」から読む <持ち物> 「賢木」の原文が書かれている本 <申込み> 5月10日(月)から受付します	
	公民館ギャラリー 95表装クラブの表装作品展 (5月30日まで)					
北部公民館	おとなの休日 春	<内容> あわただしい日常を忘れ、ゆっくりと大人の時間を過ごします。ハイキングのあとに展望台からの景色を見ながら挽きたてのコーヒーをいただきます。	5月15日(土) 集合: 9時 北部公民館	越山多目的 広場周辺	<定員> 20名 <参加料> 無料 <持ち物> 昼食、飲み物、コーヒーカーップ、雨具、ハイキングが出来る服装	
	子育て いきいきサロン		6月9日～9月29日 10時～12時 (全7回)	北部公民館	テーマごとの 講師が担当	<定員> 20名 <受講料> 無料(食材費等の実費負担あり) ※託児あります <内容> 子育て中の方・関心のある方が楽しく学び合うサロンです。情報交換やお友達づくりの場として気軽に。
西部公民館	【母と子のすくのみ学級】 親子で楽しむ音楽 と遊びのひろば		5月17日(月)～10月 10時30分～12時 (全11回 隔週の月曜日)	西部公民館	佐藤 陽子 先生 関 夕加里 先生 他	<定員> なし <受講料> 無料(食材費等の実費負担あり) <内容> みんなと一緒に歌ったり、踊ったりした遊び感覚の中で親子のスキンシップを図ります。 おやつづくりもあります。 <申込み> 5月10日(月)から受付します
豊田公民館	思い出の歌		5月14日(金) 10時～12時	豊田公民館	神田 加奈登 先生	<受講料> 無料 <内容> 幼い頃の思い出の歌をいっばい歌いましょう
	はじめてのテーブル ガーデニング		6月8日・7月13日 9月14日・10月12日 (全4回 毎回火曜日) 10時～12時	豊田公民館	碓井 智子 先生	<定員> 25名 <材料費> >4,000円(初回時に徴収) <持ち物> エプロン、新聞紙、はさみ、筆記用具、薄手のゴム手袋、作品を持ち帰るカゴなど



大灯笼雛／西町（おにぎり）



七年に一度／新井（月岡尚雄）



菜の花／穴田（団長）

はなさと
花郷
Flower Home



桜の中で／壁田（ちから）

花と季節の写真募集

宛先

☎ 383-0025
中野市三好町一丁目4番27号
中央公民館
☎ 222-2691
Eメール c-koninkan@city.nakano.nagano.jp

文化なかの編集委員会では、中野市内の花や季節の写真を募集します。未発表写真に限ります・四ツ切りまで（ワイドサイズも可）のプリント、デジタルデータ（未加工のもの）。氏名、住所、連絡先、作品名、撮影場所、花の名前等を書き送って下さい。匿名希望やペンネーム掲載はその旨をお伝え下さい。随時募集します。

季節のコラム

若かった日々。
その思い出を残したまま三月に喫茶店が閉店した。
毎年贈るりんごのお礼にと、恩師が店特製のクッキーにメモを入れて知らせてくださった。
モーニングセットひとつで粘り、友と語り合ったあの時間と店がともなつかしい。思い浮かぶ友の中にはすでに鬼籍に入った者もあり、過ぎ去った年月を思う。
これまで生きてきた年月を振り返ると、あんなに長く感じていた時間が、瞬間に過ぎ去ったように感じられる。
人生は長いようで短いと痛感せざるを得ない。
手遅れかもしれないが、これからの一日いちにちを大切に過ごしたいと思う。